



学校だより

桐里っ子(HP版)

須坂市立井上小学校

平成27年7月27日

文責：宮坂

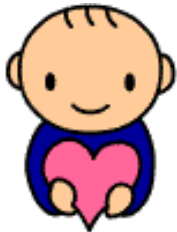
「どの子ども分かる、どの子ども学ぶ」授業づくりをめざして

私たち教職員は、日頃より機会をとらえて研修を行っています。7月14日(火)には筑波大学付属小の高倉先生にご来校いただき、音楽科指導について共に学びました。昨年度も指導いただいていた2年生は、感性を磨く授業を存分に楽しんでいました。

21日(火)には、前諏訪東京理科大の東裏先生にご来校いただき、「理科大好きキッズ」を6年対象に行っていただきました。これは県教育委員会の事業に応募して来ていただいている事業です。「流体力学」学習とすれば難しいことを、手品のように楽しく実験しながら目に見えない空気の流れを体感しました。庭でロケットの打ち上げも行って、大きな声があがりました。

23日には、東京都小平市から来ていただいた溝越先生と国語科指導について共に学びました。井上小では「どの子ども分かる、どの子ども学ぶ」ことを大事にして、学校環境や授業のユニバーサルデザイン化をめざし研修をしています。

アンケートをもとに教育相談を実施しています。



井上小では、毎年お知らせしているように、5月と11月に設定されている「なかよし旬間」の前後で「いじめアンケート」を実施しています。この6月に実施したアンケートによると、低学年を中心に「悪口・あだ名を言われた」「はたかれた」などの事柄があがってきました。その結果は職員会で全職員に情報共有され、担任はアンケートをもとに学級児童全員と教育相談を実施し、一人一人の話を丁寧に耳を傾けました。また、県から配布された「長野県いじめ防止対策推進条例ができました」リーフレットを資料に、学年に応じていじめについて考え合いました。今回の調査の結果については、教育相談を進める中で事実関係を把握し、関係児童に指導を進め解決の方向に向かっていきます。

井上小の子どもたちは、友人関係をめぐるトラブルを解決しながら「人間関係力」を身につけ、社会でたくましく生き抜いていく力をつけています。それは、学校生活ならではの大事な人間形成の場面でもありません。教職員は子どもたちの生活を見守りつつ、「いじめはあってはならない」という立場に立って、情報を共有し智慧を出し合い、チームで指導にあたっています。アンケートの「誰に相談しましたか」という項目については、「担任の先生」が最も多く、ありがたいことだと感じました。今後ともご家庭とがっちり連携しながら、子どもたちの思いを受け止めていきたいと、思いを新たにしています。

今後とも、疑問、不安なこと等ありましたら、いつでも担任や教頭・校長をはじめ、誰にでもご相談下さい。

一学期の終業式に 夏休み中こそ「井上人」として活躍してほしいと願い校長講話をしました。

題して…「井上里クイズ！」井上に学び、井上で遊び、井上で育ち、井上を背負って立つ皆さんに



- 第1問 この人はだれでしょう？
- 第2問 米持神社の額には「龍」が何頭いる？
- 第3問 ここは何？（天神塚一号墳の写真）
- 第4問 神社にいる「狛犬」はなんと言っている？
- 第5問 福島の天神社には「狛犬」でなくて「○○」がいる。何か？
- 第6問 福島の馬頭観音様の「手は何本？」
- 第7問 この子はどこにいるか知っている？
そこには「○○」が何頭いるかな？



日頃何気なく見ている近所の風景の中にも たくさんの「！」や「？」があるし、見つけてほしいと願っています。地域をよく知ることが地域への愛着を育てていくと考えるからです。地域の行事が多い夏休みです。そんな機会を捉えて是非子どもたちに「地域のお話」をしていただければ嬉しいなと思います。

井上には「地域づくり推進委員会・歴史マップ編集委員会」の皆さんが制作された「井上源氏の里歴史マップ」という素晴らしい地図があります。今回もマップを見ながら、穴場を探しました。

3年生は地域づくり推進委員会の皆さんの学習支援を受けて、今年も楽しく地域探検をさせていただきました。5年生も社会科の学習を通して地域に学ぶ機会が多くあります。井上地域の教育力に感謝です。

いよいよ夏休みです。（7/28（火）～8/18（火））

講話の最後に、病気や交通事故、自然災害に気をつけて、しっかり食べてたくさん体と頭を動かして、安全で楽しい夏休みを過ごしましょうとお話しました。

家庭と地域で過ごす長期休みです。子どもたちの安全で健全な育成のために、様々にご支援・ご協力いただきます。よろしくお願いいたします。

猛暑です。ご家庭の皆様・地域の皆様も、健康にご留意下さい。

